

平成 30 年度第 1 回

日高市青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会会議録

日 時	平成 30 年 8 月 17 日 (金) 午前 10 時 30 分～午後 0 時 10 分
場 所	日高市役所 2 階庁議室
公開・非公開	公開
非公開理由	
出席者	谷ヶ崎会長、中村委員、阿部委員、平井委員、大里委員、松本委員、新井(ゆ)委員、伊藤委員、佐藤委員、鯉沼委員、大沢委員、新井(た)委員、吉田委員、小林(ゆ)委員、中山委員、持田委員、大澤委員、山畑委員
説明員	教育センター松本指導主事、生涯学習課松本主査
事務局	吉野教育部長、島津教育部参事、学校教育課野村課長、学校教育課松崎教育センター所長、学校教育課飯島主幹、学校教育課橋本指導主事、教育センター松本指導主事、生涯学習課駒井課長、生涯学習課吉野主幹、生涯学習課松本主査
傍聴者	2 名
担当部署	教育委員会学校教育課・生涯学習課
配布資料	① 日高市いじめ防止等に関わる取り組みについて (資料 1～4) ② 青少年インターネット環境整備法改正の概要について (資料 5) ③ 読売新聞埼玉版について (資料 6)
議題及び決定事項等	(1) 日高市いじめ防止等に関わる取り組みについて (教育センター松本指導主事より資料 1～4 について説明) 《資料 1》いじめの認知件数 《資料 2》学校区・学年区いじめの認知率 《資料 3》学校別「いじめの内容」 《資料 4》いじめを予防するための取り組み ・いじめの時期は、いつごろですか ⇒ 1 学期の始めが多いと思われる。学年では、小学校 3 年生から中学校 1 年生の時期に認知率が高くなっている。これは、仲間意識が強まる時期で、仲間以外の者を攻めてしまうことが考えられる。 ・武蔵台中の 11%の認知率について ⇒ いじめの認知の基準に沿って、きめ細かく対応し、早期発見、早期対応に努めている。 ・中学 1 年生での認知率が高いことについて ⇒ 新しい人間関係がつくられる時期である。各学校においては、より意識を高くし、いじめの認知を求めている。 ・部活動の因果関係について ⇒ はっきりできない。 ・いじめの認知率の数値が「0」、もしくは低いのはどういふことか ⇒ 先生方の努力により、未然に防止策を取り解決に向け対処している。 ・中学校の「いじめの内容」に「パソコンや携帯電話等」がないのはなぜか ⇒ 1 つのいじめについて、その内容は複雑である。いじめられた生徒にとって、「パソコンや携帯電話等」よりも「冷やかしかからかい等」の方が強く印象に残った場合など、いじめの内容を一つしか訴えないこともある。より詳しい内容を把握できるように、学校へ協力を求めている。

(2) 各団体の活動状況等について

- ・警察 ・しっかりと、家庭においてもスマホの使用方法を指導して欲しい。
 - ・なぜ犯罪に巻き込まれてしまうのか⇒家庭においても、しっかり指導してもらいたい。
- ・小学校 長期の休み後での自殺が多いと聞いているが、中々、学校では、対応できないので、しっかり家庭で、見てもらいたい。
- ・中学校 ・部活での、日々の生徒の顔色を見ることができ、異変に気づくことがある。
 - ・最近、生徒の中に、「心が弱い」子が多い。⇒強い子を育てる。命を大切にする。
- ・高校 生徒のスマホの保有率は、とても高い。
- ・民生委員・社協 子ども食堂(子どもの居場所)の開設を準備している。
(世代間交流も含む)
- ・区長 ・地域活動において、親の顔が必要である。
 - ・家庭の中でも、スマホ等の指導が必要
- ・保護司 文化新聞の記事により、子ども達に郷土愛を育成させるためにも、公民館のイベント等に積極的に参加させては。
- ・子連 相撲大会やカルタ大会等、スケジュール調整が困難である。
- ・育成推進委員 青年の主張大会の模様を学校でも反映できないだろうか、工夫して欲しい。
- ・スポ少 ・保護者として、スマホの使用の仕方を工夫しないと痛感している。
 - ・スマホの使用している子の指導方法を知りたい。
- ・老連 ひまわり探検隊に参加する子どもは、世代間交流をしっかりと行っている。

(3) その他

青少年インターネット環境整備法改正の概要について (資料5)

青少年のインターネット利用環境実態調査結果について

読売新聞埼玉版の記事について (資料6)

(生涯学習課 松本主査より資料5、資料6について説明)